

<山陽小野田市総合計画の策定に向けた職員意識調査>

あなたの声をお聞かせください



調査のお願い

山陽小野田市では、平成17年3月22日の合併にともない、新しい市としてのまちづくりの指針となる「山陽小野田市総合計画」を策定する運びとなりました。

昨今の社会経済環境は、経済低迷の長期化、少子高齢化の一層の進展、地方分権や三位一体改革の推進など、大きな変革期を迎えており、こうした時代背景を的確に捉えつつ、新たな市民要求に応えられるよう、計画の策定を進めていくことが重要と認識しているところであります。

そこで、職員（特別職・臨時職員を除く山陽小野田市職員）の皆さんのご意見をうかがい、あわせて計画策定の基礎資料としたいと考えております。日頃の市政運営の上で感じているところを、素直にお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成18年1月

ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、**1月23（月）まで**にご記入のうえ、各課でまとめて企画政策部企画広報課までご提出ください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<連絡先>

企画政策部 企画広報課 担当：堀川、森、岩崎

1 あなた（回答者）のご自身について

問1 あなたの年齢は？ 《1つだけに○》

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65歳以上 | | |

問2 あなたは、今後のまちづくりの課題や市民ニーズを考えると、これまでの総合計画や行財政運営には、どのような課題・問題点があると認識されていますか。

《当てはまるもの4つ以内で、○を付けてください。》

1. 職員に計画の重要性が認識されていない
2. 職員に計画スケジュールや進行管理の意識が希薄である
3. 内容が総花的で特徴がないものになっている
4. 各部門の「タテ割」傾向が強く、総合性の視点到欠している
5. 各部門を「ヨコ割」にして、各部門が連携して取り組むような戦略性が乏しい
6. 施策・事務事業の達成度や成果が、市民にとってわかりにくい
7. 施策・事務事業の優先順位が明確でない
8. 効果のうすい施策・事務事業を削減するための方針として機能していない
9. 総合計画と予算をリンクし、優先順位の低い施策・事務事業を廃止し、そこで浮いた財源を優先順位の高い施策・事務事業に振り向けるというような仕組みになっていない
10. 施策・事務事業の達成度や成果からみて、施策・事務事業を所管する組織自体の必要性の有無を問うような仕組みになっていない
11. 市民参画、民意を十分に踏まえたものになっていない
12. その他（)

問3 あなたは、「総合計画」の実効性を高めるため、今後、どのように改善することが望ましいとお考えですか。

《当てはまるもの4つ以内で、○を付けてください。》

1. 計画の形成・決定段階における職員参加の推進
2. 総合計画の内容を特徴的なものに変更
3. 政策・施策に対する事務事業の貢献度を明らかにするため、政策・施策・事務事業の目的・手段関係をより明確にする。
4. 各部門を「ヨコ割」にして、各部門が連携して取り組むような戦略プロジェクトの設定
5. 施策・事務事業の優先度を明確にする等の行政改革に役立つようにする
6. 総合計画と施策・事務事業の達成度や成果を客観的な指標で評価する行政評価システムとの密接な連携
7. 総合計画と予算との密接な連携
8. 総合計画・行政評価システム・予算の3者の密接な連携
9. 計画の形成・決定段階における市民参画・協働の推進
10. 計画の執行段階における市民参画・協働の推進
11. 計画の評価段階における市民参画・協働の推進
12. その他（)

問4 「①」～「⑤」のテーマについて、それぞれの項目（施策や状況）について、「今後力を入れるべき事項」としての『優先度』をすべての項目において1～3の中から1つ選び○を付けて下さい。	優先度		
	優先すべき	これまで通り	あまり優先しなくてよい
回答例 ○○の整備	①	2	3
① 市民主役の行政運営の確立			
1. 市民主役の地域づくりの推進	1	2	3
2. ボランティア・NPO*等の活動	1	2	3
3. 地域・市民活動の拠点の整備	1	2	3
4. 地域リーダー・人材の育成	1	2	3
5. 行政への住民参加（参画）	1	2	3
6. 市民との協働によるまちづくりの推進	1	2	3
7. 人権尊重のまちづくりの推進	1	2	3
8. 男女共同参画社会形成の推進	1	2	3
9. 情報公開の推進	1	2	3
10. 行政窓口での対応の状況	1	2	3
11. 行財政改革の推進	1	2	3
12. 公共施設の効率的な運営・管理と有効活用の推進	1	2	3
② 安心・安全環境の充実			
13. 地域福祉活動の推進	1	2	3
14. 高齢者の生きがい対策と社会参加の促進	1	2	3
15. 高齢者の在宅福祉サービス	1	2	3
16. 高齢者福祉施設の充足	1	2	3
17. 在宅介護支援体制の充実	1	2	3
18. 介護予防・介護サービスの推進	1	2	3
19. 障害者の在宅福祉サービス	1	2	3
20. 障害者の社会参加の促進と就労支援	1	2	3
21. 保育所などの子育て支援環境の充実	1	2	3
22. 健康維持増進のための保健サービス	1	2	3
23. 医療機関の整備と医療体制の充実	1	2	3
24. 台風や地震時の防災対策の充実	1	2	3
25. 消防施設・消防体制の整備	1	2	3
26. 住民主体の自主防災組織の育成	1	2	3
27. 災害時の情報伝達手段の整備	1	2	3
28. 地域の防犯対策の推進	1	2	3
29. 交通安全対策の推進	1	2	3

※「NPO」とは？ 民間非営利団体。「まちづくり」「障害者や高齢者の福祉」「川や森林の愛護」などを目的に、身近なところで行われている活動団体のことです。

	優先度		
	優先すべき	これまで通り	あまり優先しない
③ 教育・文化環境の充実			
30. 小学校・中学校における教育内容の充実	1	2	3
31. 小学校・中学校の施設等の整備	1	2	3
32. 図書館や公民館等の生涯学習施設の充実	1	2	3
33. 生涯学習機会・活動機会の提供	1	2	3
34. スポーツの振興・普及	1	2	3
35. スポーツ施設の整備	1	2	3
36. 芸術文化活動の振興	1	2	3
37. 文化施設の整備	1	2	3
38. スポーツ・文化大会の推進	1	2	3
39. 産業遺産・文化財や伝統文化・芸能の保存・継承	1	2	3
40. 産業遺産・文化財や伝統文化・芸能の観光的活用	1	2	3
41. 生涯学習、企業の研究活動等における大学の利活用	1	2	3
④ にぎわい・活力環境の創出			
42. 土地区画整理事業など計画的な土地利用の推進	1	2	3
43. 新幹線、空港の利用のしやすさ	1	2	3
44. 地域間を結ぶ幹線道路の整備	1	2	3
45. JR、バス等の地域生活交通の運行状況	1	2	3
46. インターネット等の情報通信環境の整備	1	2	3
47. 魅力ある計画的な住宅地の形成	1	2	3
48. 企業誘致や新しい産業の創出	1	2	3
49. 地元企業の育成	1	2	3
50. 産・学・公・民の連携による新しい産業づくりと人づくり	1	2	3
51. 中心市街地、駅前周辺の商業施設の充実	1	2	3
52. 地方卸売市場など流通拠点の整備	1	2	3
53. 優れた自然環境や歴史、文化を活かした観光振興	1	2	3
54. 宿泊施設や観光集客施設の整備	1	2	3
55. 農林水産業の担い手の育成	1	2	3
56. ほ場整備・漁港整備など生産基盤の整備	1	2	3
57. 森林・農地・海岸の保全	1	2	3
58. 米・果樹・野菜・水産物等の販売の促進	1	2	3
59. 森林資源の活用	1	2	3
60. 地産地消の推進	1	2	3
61. 雇用機会の確保	1	2	3
62. 職業能力の開発向上	1	2	3

項目[]

◆重点課題

◆アイデア・提案など

項目[]

◆重点課題

◆アイデア・提案など

項目[]

◆重点課題

◆アイデア・提案など

項目[]

◆重点課題

◆アイデア・提案など

たいへんにお忙しいところ、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
締め切りの 1月23日（月） までに、企画広報課までご提出くださいますようお願い申し上げます。

